

授業概要

科目名		運動学			授業の種類	講義	講師名			
授業回数	38回	時間数	75時間	(4単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年			必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕										
理学療法では障害を持った方の動作の異常を評価、治療していく。そのためにはその動作を客観的に捉えて、言葉として記録できないと、他の専門職や一般の人たちに伝えることができない。運動学では人の動きと、その仕組みを理論的に説明する能力を身につけてもらう。										
〔授業全体の内容の概要〕										
講義とワークブック（臨床運動学ワークブック,辻下守弘 他,医学書院）を実施する。生理学，解剖学を復習しておくことが必須となる。また教科書は必ず持参すること。わからないことがあったらそのままにしないで、まず自分で調べ、それでもわからない場合、担当教員に質問をすること。										
〔講師の実務経験〕										
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕										
基本的な動きのメカニズムについて自分の言葉で説明できる。										
回数	講義内容									
1	運動学概論・物理学									
2	〃									
3	解剖生理学・運動学基礎									
4	〃									
5	基本動作のメカニズムについて									
6	関節運動のメカニズムについて									
7	肩甲帯・肩関節									
8	〃									
9	肘関節・前腕									
10	〃									
11	手関節・手指									
12	〃									
13	復習									
14	〃									
15	手関節・手指									
16	〃									
17	復習									
18	〃									
19	股関節									
20	〃									
21	膝関節									
22	〃									
23	足関節・足部									
24	〃									
25	顔面、脊柱、胸郭									
26	〃									
27	神経系									
28	〃									
29	運動学習・姿勢									
30	〃									
31	運動発達									
32	〃									
33	歩行動作基礎									
34	摂食・嚥下のメカニズムについて									
35	活動（運動）を実行・継続するメカニズムについて									
36	活動（行動）を営む上での精神・心理機能（モチベーション）について									
37	まとめ									
38	〃									
【 準備学習・時間外学習 】										
【 使用テキスト 】										
書籍名					著者名			出版社		
基礎運動学第6班補訂、授業時に必要なプリント資料を配布する。										
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】										
筆記試験にて評価する										